令和四年度　教科専門試験　高等学校（書道）解答例

一

（一）2点×6

①	②	③	④	⑤	⑥
ウ	イ	ア	イ	ア	ウ

（二）2点×5

①	②	③	④	⑤
Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ

二　3点×6

（一）仮名の一種。万葉仮名を漢字の楷書や行書で書いたもの。主に男性が用いた。真仮名ともいう。

（二）印のつまみのこと。

（三）一方の手の甲を枕にし、他方の手首をその上に乗せて書く方法。

（四）連綿する部分が実線ではつながっていないが、筆脈が通っている場合をいう。

（五）文字が浮き上がるように刻す方法。凸刻ともいう。

（六）皇帝や貴人、祖先の名と同じ文字を用いるとき、畏敬してその字画を省くこと。欠画ともいう。

三

A

（一）古典名　風信帖　2点　筆者名　空海　2点

（二）イ　1点

（三）第二通　忽披帖　2点　第三通　忽恵帖　2点

B

（一）古典名　九成宮醴泉銘　2点　筆者名　欧陽詢　2点

受験校種	高	教科科目	書道	受験番号						得点	

大問	記号	設問	解答	配点
三	B	(二)	初唐の三大家	2点
		(三)	イ	1点
	C	(一) 筆者名	王羲之	2点
		(一) 時代	東晋	2点
		(二)	ウ	1点
		(三)	ア	1点
	D	(一) 古典名	泰山刻石	2点
		(一) 時代	秦	2点
		(二)	エ	1点
		(三)	イ	1点
	E	(一)	イ	1点
		(二)	散らし書き	2点
		(三)	イ	1点
	F	(一) 古典名	莱子侯刻石	2点
		(一) 時代	新	2点
		(二)	古隷	2点
		(三)	ウ	1点
	G	(一)	イ	1点
		(二)	蘇軾・米芾・蔡襄（うち二名）	2点×2
		(三)	墨跡	2点
	H	(一) 筆者名	何紹基	2点
		(一) 時代	清	2点
		(二)	金石　学	2点
		(三)	ア	1点
四		(一)	エ	1点
		(二)	寸松庵色紙 継色紙	2点×2
		(三)	ウ	1点
		(四)	エ	1点
		(五)	者那春ゝ支可世ニなひきてみ多るゝ盤 む春ひお支てしつゆやとくらん	20点
五			聞有古神人者月明之夜毎駿鸞鶴而下	2点×16

受験校種	高	教科科目	書道	受験番号		得点	

六　2点×12

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
翔	龍	帝	鳥	官	皇	始	制	文	服	衣	推

七

(一)

作者名：孫過庭　2点

書論名：書譜　2点

(二)

これは、孫過庭が自身の学書経験から、書を書くのに良い条件を示したものである。その条件とは、次の五つである。①心が和らぎ、仕事が暇なとき。②感覚がよく働き、何事もすぐ理解できるとき。③気候が穏やかで大気に潤いがあるとき。④紙と墨がよくなじむとき。⑤ふと書いてみようとする気持ちが起こったとき。しかし、この五つがそろうのは難しいので、よい時を待つより、よい道具をそろえるほうがよく、また、よい道具より気持ちの充実を図るほうがよいと述べている。このように、書には書く人の心のありようが表れるものであるから、授業においては気持ちを整え、興味を持って臨むことが大切である。

281字

300

20点

受験校種	高	教科科目	書道	受験番号		得点	